

地域家庭医療学

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	3 人	

2 教員の異動状況

沖 隆 （特任教授）（H12.4.1～H25.12.31 第二内科講師；H26.1.1～現職）

井上 真智子（特任教授）（採用 H26 年 4 月 1 日～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	7 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	19.15	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	7 編	(5 編)
そのインパクトファクターの合計	2.67	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	5 編	(5 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Non-islet cell tumor-induced hypoglycemia associated with macronodular pulmonary metastases from poorly differentiated thyroid carcinoma. Morioka T, Ohba K, Morita H, Takahashi G, Uchida H, Matsushita A, Sasaki S, Oki Y, Suda T, Kakudo K, Yoshino A: Thyroid 24(2):395-399,2014 [3.843]
2. Essential Role of TEA Domain Transcription Factors in the Negative Regulation of the MYH 7 Gene by Thyroid Hormone and Its Receptors. Iwaki H, Sasaki S, Matsushita A, Ohba K, Matsunaga H, Misawa H, Oki Y, Ishizuka K, Nakamura H, Suda T: PLoS One 9(4):e88610,2014 【内分泌】 [3.534]
3. Inoue M, Matsumoto S, Yamaoka K, Muto S. Risk of social isolation among Great East Japan Earthquake survivors living in tsunami-affected Ishinomaki, Japan. Disaster medicine and public health preparedness. 8:333-340, [1.142]

インパクトファクターの小計 [8.519]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Laparoscopic simultaneous bilateral adrenalectomy for testosterone-secreting bilateral adrenal tumors. Suzuki T, Furuse H, Kurita Y, Ushiyama T, Mugiya S, Ozono S, Oki Y: International journal of urology 21(1):117-119,2014 [1.910]

インパクトファクターの小計 [1.910]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Clinicopathological study of SDHB mutation-related pheochromocytoma and sympathetic paraganglioma. Kimura N, Takekoshi K, Horii A, Morimoto R, Imai T, Oki Y, Saito T, Midorikawa S, Arao T, Sugisawa C, Yamada M, Otuka Y, Kurihara I, Sugano K, Nakane M, Fukuuchi A, Kitamoto T, Saito J, Nishikawa T, Naruse M: Endocrine-related cancer 21(3):L13-16,2014 【腫瘍】 [4.907]
2. Hadrien Charvat, Atsushi Goto, Maki Goto, Machiko Inoue, Yoriko Heianza, Yasuji Arase, Hirohito Sone, Tomoko Nakagami, Xin Song, Qing Qiao, Jaakko Tuomilehto, Shoichiro Tsugane, Mitsuhiro Noda and Manami Inoue*. Impact of population aging on trends in diabetes prevalence: A meta-regression analysis of 160,000 Japanese adults. Journal of Diabetes Investigation, DOI: 10.1111/jdi.12333, 2015, [1.496]
3. Ukai T, Shikata S*, Inoue M, Noguchi Y, Igarashi H, Isaji S, Mayumi T, Yoshida M, Takemura YC. Early prophylactic antibiotics administration for acute necrotizing pancreatitis: a meta-analysis of randomized controlled trials. Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences. 22:316-321, 2015, [2.313]

インパクトファクターの小計 [8.716]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Medical management of functioning pituitary adenoma: an update. Okai Y: Neurol Med Chir (Tokyo) 54(12):958-965,2014 [0.649]
2. 特殊な Cushing 症候群(AIMAH および PPNAD)の診断と治療. 飯野 和, 沖 隆: 内分泌・糖尿病・代謝内科 39(4):349-354,2014 [なし]
3. 【内分泌疾患診療における負荷試験:その目的、実施から評価まで】 ACTH 依存性および非依存性高コルチゾール血症. 沖 隆: 内分泌・糖尿病・代謝内科 39(4):286-290,2014 [なし]
4. 【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】 内科疾患にみられる神経障害(疾患) 内分泌疾患、糖尿病、視床下部・下垂体疾患 下垂体機能低下症. 沖 隆: 日本臨床 別冊(神経症候群 V):183-187,2014 [なし]
5. 井上真智子 プライマリ・ケアの専門性とは何か レジデント, 8(3):6-11, 2015. [なし]
6. 井上真智子 ジェネラリストが独自のキャリアを築く時代 治療増刊号 96:709-712, 2014. [なし]

インパクトファクターの小計 [0.649]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Pathophysiology and treatment of subclinical Cushing's disease and pituitary silent corticotroph adenomas [Review]. Kageyama K, Okai Y, Nigawara T, Suda T, Daimon M: Endocr J,2014 [2.019]

インパクトファクターの小計 [2.019]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 井上真智子 妊娠中の女性が common disease で受診してきたら、奈良信雄編、こんな時どうする?患者の味方が本当にわかる 羊土社、東京、2014.
2. 井上真智子 授乳中の女性への処方のかた、奈良信雄編、こんな時どうする?患者の味方が本当にわかる 羊土社、東京、2014.
3. 井上真智子 高齢者ケアと家庭医、藤沼康樹編、新・総合診療医学—家庭医療学編第2版、カイ書林、東京、2015.
4. 井上真智子 見逃してはならないドメスティック・バイオレンス、井上真智子編、もう困らない!プライマリ・ケアでの女性の診かた、羊土社、東京、2015

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 岡崎友里、鳴本敬一郎、井上真智子、不正性器出血、藤沼康樹、新・総合診療医学—家庭医

療学編第2版,カイ書林、東京、2015.

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(60 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件	(40 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	2 件	(189 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	2 件	(318 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

井上真智子：若手研究 (B) 「日本におけるプライマリ・ケア質評価指標の開発」 H24-28 年
総額 340 万円 H26 年度 60 万円

(2) 厚生労働科学研究費

沖 隆：難治性疾患克服研究事業「間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に
関する研究」40万円

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

沖 隆：製版後 帝人ファーマ (株)

井上真智子：「未病に取り組む多世代共創コミュニティの形成と有効性検証」独立行政法人科学
技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発)、H26-28 年、研究
分担者、分担総額 596 万円 H26 年度 183 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表、総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	3 件
(3) 学会座長回数	0 件	2 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件

(6) 一般演題発表数	4 件	
-------------	-----	--

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

1. Machiko Inoue, Hideyo Tsutsui, Mieko Nakamura, Taiji Yamaoka, Toshiyuki Ojima. Factors associated with the preferred place of death among community residents in Shizuoka, Japan: a cross-sectional study. 2015 WONCA Asia Pacific Regional Conference, Taipei, Taiwan, 2015年3月, 台北 (台湾)
2. Machiko Inoue. Reaping the rewards and overcoming the challenges of primary care on remote islands in Japan: a mixed methods study. Mixed Methods International Research Association Inaugural Conference 2014 2014年6月 ボストン (米国)

ポスター発表

1. Machiko Inoue, Takashi Amagasa, Takeo Nakayama. Impact of health literacy, patient-physician relationship and social support on diabetes outcome in primary care in Japan: a structural equation model approach. 2015 WONCA Asia Pacific Regional Conference, Taipei, Taiwan, 2015年3月, 台北 (台湾)
2. Machiko Inoue, Characteristics of the Japanese Physicians on Remote Islands – What Affects Their Willingness to Stay? WONCA Asia-Pacific regional conference in Malaysia, 2014年5月, クチン (マレーシア)

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表

沖 隆:「下垂体機能検査は難しくない」第41回日本神経内分泌学会学術集会, 東京, 2014年10月

沖 隆:「サブクリニカルクッシング症候群の病態と治療 サブクリニカル Cushing 病 /Cushing 病診断の問題点」第87回日本内分泌学会学術総会, 福岡, 2014年4月

井上真智子:「超高齢化社会を支えるプライマリ・ケア」(シンポジウム「病院医療をプライマリ・ケア現場から考える 一突きつけられた喫緊の課題から」) 第56回全日本病院学会 in 福岡, 福岡, 2014年9月

4) 座長をした学会名

沖 隆：第 87 回日本内分泌学会学術総会

井上真智子：第 4 回日本プライマリ・ケア連合学会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

沖 隆：日本内分泌学会 代議員、Endocrine Journal 編集委員

東海支部支部長・生涯教育部会委員（臨床）、専門医試験内科小委員

沖 隆：日本神経内分泌学会 評議員、理事

沖 隆：日本ステロイドホルモン学会 評議員

沖 隆：日本糖尿病学会 学術評議員

沖 隆：日本間脳下垂体腫瘍学会 理事

沖 隆：副腎腫瘍取扱規約（泌尿器科学会） 作成委員

沖 隆：間脳下垂体副腎系研究会 代表世話人

沖 隆：アクロメガリーフォーラム 世話人

井上真智子：日本混合研究法学会 理事・事務局

井上真智子：日本プライマリ・ケア連合学会 女性の医療・保健委員会委員長

井上真智子：日本プライマリ・ケア連合学会 医療の質・安全委員会委員

井上真智子：日本医学教育学会 研究倫理・COI 委員会委員

井上真智子：日本プライマリ・ケア連合学会 学会誌編集委員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	2 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

沖 隆：Endocrine Journal, Editorial Board, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有

井上真智子：General Medicine（日本）編集委員 PubMed/Medline 登録無、インパクトファクター無

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

井上真智子：General Medicine（日本）3 回

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	1 件
(2) 国内共同研究	4 件
(3) 学内共同研究	1 件

(1) 国際共同研究

- 井上真智子 SP Instructor を用いた性器診察研修について ミシガン大学家庭医療学講座(米国)、H26 年、論文投稿中

(2) 国内共同研究

1. 井上真智子：低所得者医療に関する診療所医師の認識について 日本医科大学衛生学公衆衛生学講座 H25-26年 医療経済研究機構研究助成
2. 井上真智子：離島の1人診療所で必要な Competency とその習得方法に関して 淀川キリスト教病院 H26年 へき地離島救急医療学会研究助成
3. 井上真智子：日本におけるプライマリ・ケア質評価指標の開発 東京医科歯科大学 H24-26年 文部科学省科学研究費
4. 井上真智子：中学生女子への HPV ワクチン教育に関して 静岡家庭医養成プログラム H25-26年 ミシガン大学奨学寄附金

(3) 学内共同研究

1. 井上真智子：Lynch 症候群から始める「地域発、プライマリ・ケア遺伝診療」の確立 研究代表者（岩泉守哉） 研究分担者（鳴本敬一郎、他）

10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

井上真智子：Best Poster Award , WONCA Asia Pacific Regional Conference in Malaysia, 2014

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道